

サッカーのケース

次のガイドラインに沿って、新型コロナウイルス対策を行い屋外スポーツ施設を開館する。

プレーヤーへの対策要請内容

(原則)

- マスクの着用、手洗いの推奨を徹底する。
- 人と2m以上距離をあけて利用する。休憩中も2m以上距離をあける。

(プレー前に気をつけること)

- ご自身のサッカー道具をきれいに拭く。
- 汗拭きタオル、帽子などの貸し借りはしない。
- 水筒を持参する。(可能であれば)
- 手袋を使用する。(可能であれば)
- 咳やくしゃみなどをする場合はティッシュ、もしくは上袖にする。

(プレー中に気をつけること)

- 試合は避け、個人練習(ドリブル・シュート・距離をあけてのパス回し)を中心に行う
- プレーヤ同士の間隔を2m以上に保つ。
- 握手やハイタッチなどの接触を避ける。
- ボールに触れた手で顔を触らない。
- 顔を触った場合、手をしっかり拭いてからボールに触れる。
- ボールは足で蹴って渡す(極力ボールを手で拾わない)。
- 他のコートからボールが来た場合も、同様に蹴って渡す。

(プレー後に気をつけること)

- 迅速にグラウンドから出る。
- 利用終了後、念入りに手洗する。
- プレー後に集まって談笑しない。

管理者のハード面の対策内容

(密閉対策)

- 施設内更衣室・シャワー室の使用は禁止する。

(密集対策)

- プレー中、プレー後に複数人が集まって談笑しないようにチラシを貼付。
- ベンチや休憩用椅子の間隔を空けて密集対策をとる。

(密接対策)

- 受付窓口に飛沫防止用パネルの設置。消毒清掃時もプレーヤーが周囲2m以内にいない環境で行う。
- タッチパネル式のチケット精算機器などの窓口で使用させる際に、消毒設備を整え利用者が使用するたびに消毒できるよう注意喚起を行う。

(その他)

- 営業時間内は倉庫を開けたままにし、利用者がドアを触らなくてよいようにする。
- グラウンドの備品を消毒するために、清掃時間を設けるようにする。
- 屋外トイレを使用する利用者用に消毒設備を設ける。